

ウィーンの  
ユニオンクラブ

## 「幻の設計図」が結ぶ交流

大津拠点の  
琵琶湖倶楽部

## 提供受け、感謝の湖国入り

「幻の図面をありがとう」。ドイツで設計された戦前の木造ヨットをめぐる、同型船を持つオーストリア・ウィーンの「ユニオンヨットクラブ」の関係者が二十九日、大津市の琵琶湖ヨット倶楽部を訪問した。欧州では入手困難な設計図のコピーを昨年末に郵送した同倶楽部に感謝の気持ちを表すため、両国のヨットマンは今後も交流を続けることを約束した。

## 「日本に現存、奇跡」

## 独の名ヨットEZが縁

同クラブは一九〇八つ。ウィーンの西三百問したのは、不動産業  
年設立で、同倶楽部よきにある湖が拠点で三  
り十四年古い歴史を持つ。百人の会員がいる。訪  
テイさん(40)。世界

で数少ないドイツ製木  
造ヨットの情報収集や  
レース復元に取り組む  
中、同型船(EZ)を持  
つ同倶楽部とメール  
で交流を始め、ハワイ  
への休暇途中に日本に  
立ち寄った。

EZを挟み、今後の交流を誓い合ったブラサティさん(左)と  
青木副会長(大津市・県立ヨットハーバー)



大津市柳が崎の県立  
ヨットハーバー艇庫で  
青木英明副会長にクラ  
ブ旗を手渡し、EZの  
説明を受けたブラサテ  
イさんは「日本にこの  
船があるのはミラクル  
だ」と興奮。「第二次  
大戦で散逸した船や設  
計図を大切に保管して  
いることを尊敬しま  
す。同じ船を持つ者  
として、今後も人の交  
流や情報共有を進め  
たい」と笑顔で話し  
た。